

【フリートーク：環境報告書についての意見交換 その2】

11月20日（日）フリートークは、『令和3年度環境報告書（令和2年度実績報告）』（以下、環境報告書とする。）について、討議を行いました。

環境推進管理委員会での評価等を経て作成された環境報告書は、国分寺市環境基本条例第26条（環境報告書）に基づき、環境基本計画の適正な進行管理を行うため、市の環境の保全、回復及び創造に関する施策の実施状況を公表しているものです。環境報告書を作成・公表することにより、市民や事業者の方へ情報提供を行うとともに、環境の保全及び回復創造に関する取組の推進につなげていくことを意図しています。

こうした背景を踏まえて、今回のフリートークでは、環境報告書について次のような討議がなされました。

- ・「この報告書の対象は誰なのか。対象が市民ならば市民にとって、国分寺市の環境状況と市の施策等が分かりやすい報告書にしなければならない。」
- ・「各施策の目標を明確にする必要がある。その目標に対して、施策や取組の結果、目標達成状況を明確にする必要がある。」
- ・「目標は必ずしも数値化するというのではなく、定性的であれ、目標達成度が評価できるものでなければ、何が課題であるかが見えてこない。現在の環境報告書では、取組をどのような観点で評価すべきか判断ができない。」
- ・「市の色々な部署が関わって施策・取組が行われているのだろうが、それに関係する部署が一目で分かり、目標と実績が分かりやすく記載されていることが大切である。また、現在の環境報告書では担当部署が一生懸命課題に取り組んでいるにもかかわらず、そのことが見えてこない。」
- ・「様々な市民団体が施策や取組に関係した活動を行っていることを分かるように、団体活動事例など報告書に記載したい。」
- ・「なぜ分かりにくい報告書になっているのか。報告書にメリハリをつけ、現時点での市の環境状況、その課題、課題に対する施策、施策・取組が目指す姿・目標が分かりやすくまとめられる必要がある。」
- ・「施策・取組の結果、どのように環境の保全、回復、創造がされたのか、といった観点での報告がなされるべきである。」
- ・「市民にとって分かりやすい報告書とするため、市民に身近な部分だけでも白書のような形式にするのも良いのではないか。」

こうした環境ひろばでの意見は、集約すると市民、事業者がより分かりやすい報告書としなければならないということでした。

そのためには、第三次環境基本計画策定までに、環境マネジメントシステムと連動し、市が目指す環境保全、回復、創造に係る目標と目標達成の課題、課題解決の施策・取組とその結果、評価の記述が行われ、市全体の環境状況がはっきり読み取れるような報告書となるよう、その構成等を見直す必要があることが見えてきました。

令和3年度

環境報告書

令和2年度実績報告



国分寺市

(再生紙使用)

【「野川源流スクール」開講】

野川は、国分寺市を流れる唯一の河川です。国分寺市を源流として、国分寺崖線からの湧水を集めながら、小金井市、三鷹市などをへて世田谷区の子玉川付近で多摩川に合流しています。この国分寺市民にとって宝物とも言うべき野川も、小金井市から下流区間は自然豊かな美しい川になっていますが、残念ながら国分寺市区間は整備が遅れ、コンクリート3面張りの状況にあります。

そこで整備促進への気運醸成を図る活動の一環として、開講したのが「野川源流スクール」です。

今年度は、市立第一、第四、第七小学校の4年生を対象に、1日コースの授業として実施しました。1時限目は、用意した副読本にそって、野川の概要や成立ちについて学習し、2～4時限目は、実際に野川の周辺や湧水地の散策を行いました。その後5～6時限目は、ガリバー地図作り、少人数の班ごとに、Aゼロ版の地図に、その日の学習や散策を通して、気づいたこと、感じたことなどをポストイットに書いて

貼り、発表を行いました。

その後、野川検定（自己採点）を行い、感想文を書いて終了しました。

感想文には、“野川のことをたくさん分かって、楽しかった”“小金井は緑がいっぱいなのに、国分寺はコンクリートで悲しかった”“いろいろな気づきがあったよかった”“早く小金井の野川と同じように生きものがたくさん住める川にしたい”“家に帰ったらうちのひとにも今日の話を話したい”など、大変うれしい内容が沢山盛り込まれていました。

(環境ひろば会員 龍神瑞穂)



【ヤクシソウ 晩秋まで咲き残る】

右の写真はヤクシソウといい、キク科タンポポ亜種の越年草です。茎の高さは30～80cm、枝は節ごとにくの字に屈曲し、大きい株になる植物です。

昨年は見つけれませんでしたでしたが、今年の日影山では群生を確認し、11月8日には、恋ヶ窪村分水・西恋ヶ窪用水路跡でも開花を確認しました。

今年咲いた個体は枯れてしましますが、今春に発芽した個体が冬越しをして、来秋の開花が見られるかも知れません。また見つけられたらうれしいですね。

(環境ひろば会員 鈴木まき子)



(10月26日 国分寺姿見の池緑地保全地域(日影山)で撮影)

環境ひろばのお知らせ

1月15日(日) 午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室(戸倉1-6-1)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

(あとがき) 環境報告書をどのようなものにするか、色々アイデアが湧いてきます。ことによると従来の報告書ではなく、白書化しても良いのではとも思われます。必要なことは、市民に市の環境状況をお伝えすることですので、情報を受ける私たち市民が、どのような内容にしたいかを要望する必要があります。ますます、一人ひとりの方の意見が大切になるのです。(佐藤)

国分寺市環境ひろば事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課
〒185-0012

国分寺市本町4-1-9 本町クリスタルビル4階
TEL: 042-314-9005 (直通)

FAX: 042-323-9060

Eメール: machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp